

ヨコ顔

会員が順次登場します

みっちゃん

「みっちゃん、退職したらしいよ」写真の腕前と人柄に惹かれた近所のホタル会員たちが聞きつけて強引に勧誘、今夏会員に。日進写真協会所属。早速、出前授業の撮影。ECO35のホタル撮影指導の要請にも応じて、一眼レフと三脚、リュック姿で夜道を熟田まで駆けつける行動力と技術にみな感激！一本筋の通った頼もしさと、細かいことなら許してくれそうな素敵なお笑顔、コロナ禍が去ったらお誘いが殺到しそうなホープ。

(まさこ)



大谷 さん

隣の東郷町から日進市まで毎朝ラジオ体操。1日1万5000歩は欠かさない。得意な工作機械の会社を立ち上げ、責任者となって奮闘。トヨタ、松下、大隈鉄工など仕事仲間に誘われ、好きな野球からゴルフに転身、ゴルファーなら憧れのエージェントを達成。2年前ホタルの会へ、放流会やごみ拾い、定例会に出席。



今年はお孫さんが入学した西小出前授業の教壇に立った。今でも仕事が舞い込むと、笑いながら出かける83歳。

(ひじかた)

NEW ! 11月13日(土) 折戸川 GOMI拾い大会 ESD事業

家の周りや、自分の気になるところのゴミ拾いをしながら9:00 ホタルの里に集合！参加賞あり。拾った量？拾ったもの？あなたは何賞になるかしら？申し込み方法・詳細は10月につしん広報で

秋～来年 主な行事予定 (ホタルの里集合)

09/25	(土) 09:00～10:00 ゴミ拾いウォーク
10/23	(土) 09:00～10:00 ゴミ拾いウォーク
11/13	(土) NEW 折戸川 GOMI拾い大会 9:00～10:30
11/27	(土) 09:00～10:00 ゴミ拾いウォーク
12/25	(土) 09:00～10:00 ゴミ拾いウォーク
01/22	(土) 09:00～10:00 ゴミ拾いウォーク
02/26	(土) 09:00～10:00 ゴミ拾いウォーク
03/12	(土) 09:00～10:00 ゴミ拾いウォーク
03/中下旬	幼虫放流会(日程は2月以降にHP参照)

ワンコインのお札 <後藤和正代表のメッセージ>

ワンコイン募金にご協力していただき感謝、感謝です。今年は35,390円。昨年は対岸に渡るげんじ橋とへいけ橋を作りました。アップダウンの通路を平らにし一方通行の流れにするカラーコーンとバーに当てました。今年もホタルの里の安全対策に使わせていただきます。



応援団(会員)募集中

年会費 1000円

(義務は何も発生しません)

1. ホタル便りをお届けします
2. ホタルが飛んだらお知らせします
3. イベント情報をお知らせします

【連絡先】折戸川にホタルを飛ばそう会

代表：後藤和正 3fa3u2@bma.biglobe.ne.jp

7ページ クイズの答え

- Q1 ③+ → 背中の赤い部分に+のマーク
 Q2 ②2秒→関西・四国は2秒で光る
 Q3 ①光のつよさ→「光はラブコール」に掲載(1面)



編集後記

今年号は1面の山本文次先生の興味深いお話、定年を迎えたばかりのカメラ女子(横顔・みっちゃん)の作品、英治・より子の万葉集の語り、小学校への出前授業5校を成立させた先生方の熱意、もう一度螢が見たいと母親の願いを実現させた息子さんとお母さんの礼状、ホタル会の昔のエピソードなどホタルを通じて知らないことをご紹介していただいた投稿者のみなさんにお礼申し上げます。

(編集長 後藤幸雄 e-mail y-gotou@sango.co.jp)
 (パソコン編集 飯塚満智子)
 (編集委員 博 昌子 正司 真砂美)

ホタルだより

from 折戸川にホタルを飛ばそう会

(愛知県日進市) 第19号: 2021/8/15(不定期刊行)

ここで活動しています！



2021-06-02 日進市ホタルの里にて 浅岡光子

光のラブコール

山本文次

ホタルはなぜ光るのか？ それは、恋のささやきです。ホタルは我々人間が光通信を発明するずっと前から光通信を行っていて、光によるコミュニケーションをしているのです。オスは腹節の尾端から2節に発光器があり、メスは、産卵管があるため尾端の1節は光らず、残りの1節で光を放ちます。ですから、オスの方がより強い光になります。

オスはこの光で自分の存在をメスにアピールします。他のオスよりもより強い光を放つオスがメスに選ばれます。配偶者の選択はメスが主導権を握っています。光の弱いオスはメスに選ばれない。何とも哀れなお話です。

ところで、ゲンジボタルではこの光の明滅のサイクルが地域によって異なっています。東日本では4秒周期、西日本では2秒周期、中間の長野県では3秒周期だそうです。最近この違いは遺伝子の違いによることが明らかになってきました。

ここで、ホタルの光はコミュニケーションツールだというお話を思い出してください。つまり、東日本のオスと西日本メスがお見合いをしても言葉が通じないため結婚には至りにくいということがわかつてきました。

近年、地域個体群という考え方方が、生物の世界では主流となっています。折戸川のホタルは、やっぱり日進弁で光っているのでしょうか。

山本文次さんのプロフィール

1993年(平成5年4月～)日進西小学校勤務、その後 愛知県総合教育センター勤務
 日進中学校勤務(教頭)、相野山小学校勤務(校長)、2004年～2008年日進市教育委員会勤務
 2011年～2015年は日進市史自然編を執筆され、赤池小・日進中の校長を歴任されました。
 今は フィールドに出て生き物好きを楽しめてみえます。

幼虫放流会

3月17日ホタルの里に「こんにちは」と園児達の元気な声が響き渡りました。保育園年長さんがんばってホタルの里まで歩いて来ました。この日は1200匹の幼虫とカワニナを放流しました。帰りは4月から入学する南小学校への道も覚えました。(しょうじ)



ESDとは、「未来の世代も幸せになるように、日頃から行動するための学び」です。また、SDGsとは、持続可能な社会の実現のために国連が採択した世界共通の17の目標です。分かりやすく言うと、「ずっと続けられる世の中をより良くするための目標」です。日進市では、SDGs達成に貢献するために、ESDの考え方を取り入れた人づくりを行っています。皆様も難しく考えずに「自分ごと」にして身近なことから取り組んでみましょう。(日進市環境課 宮田)

HPの威力!

HPアクセス数	
5月18日	43
5月19日	57
5月20日	32
5月21日	50
5月22日	98
5月23日	97
5月24日	62
5月25日	52
5月26日	86
5月27日	65
5月28日	83
5月29日	176
5月30日	97
5月31日	81
6月1日	88
6月2日	104
6月3日	88
6月4日	99
6月5日	232
6月6日	141
6月7日	97
6月8日	69
6月9日	89
6月10日	76
6月11日	127
6月12日	150
6月13日	138
6月14日	56

いっしんESD事業

ホタル観賞会

6月1日ホタルの里のゲンジボタルは最盛期、事前に申し込んだ11組31名の親子・友人ペアはSDGsの思いを共有した後、密を避けながら、ホタルのやさしい光を楽しみました。(まさこ)



姉妹クラブ（仲間たち）

筋生まちづくり研究会

ECO35

ECO35でヘイケホタルの自生確認



名古屋市熱田区にあるECO35のビオトープではヘイケボタルの飼育を10年前からはじめています。今年は自然発生を確認するため飼育幼虫を池に放流しませんでした。5月19日より池の周りでホタルが飛ぶようになり22頭を確認することができました。これはビオトープでヘイケボタルが自然発生したことになります。

コロナ禍でホタルの観賞会は本社勤務者とその家族に限定して6月11日に開催しました。生き物の力強い光に参加者は感激していました。(Yukki)



折戸川にホタルを飛ばそう会に弟子入りしたのは5年前のこと。折戸の幼虫を分けていただいて飼育方法も手取り足取り。今年は筋生の天然ヘイケから種を取って育て、羽化させることができました。今ではほんの少しになってしまった筋生の天然ホタルですが10年後を夢見て、今年もまた種取りから始めています。(加藤)



長久手みなみ里山クラブ

草掛地区的田んぼと水路



毎年ホタルが飛ぶ様になり、ここ数年自然発生させたい想いが強くなっています。

ヘイケは2年前から自然発生を確認しました。ゲンジは飛ぶ数が少なく苦戦しています。

今年から草掛地区にある水路の中の水路に幼虫放流することにしました。地元の方に放流を相談したところ大歓迎されました。今日も地元の方と一緒に幼虫放流しました。想いは一緒で昔の様にホタルを甦らせたいと思います。(浩)



◆ 折戸川ホタルを取材したい

「折戸川にホタルを飛ばそう会」のHP(ホームページ)誕生は3年前、あっちゃんという女性に出会ったのがきっかけでした。企業の観光案内誌を担当「折戸のホタルを取材したい」の申し出があり“押し寄せる”と困る”と私は丁重にお断りしました。その後「ホタルを観たい！」の申し出、今度は二つ返事でOK。

◆ スマホで見やすいHPを

感激したあっちゃんは「HP立ち上げない？私も勉強したい」と提案、当時、古いHPは開店休業中、もちろん“お願いします”。それから5ヶ月、仕事の合間に縫って送り続ける“材料”を組み立て「今後はスマホで見やすいように」「ブログも一緒に」というアイディアが威力を發揮しました。

◆ 30件を超す電話の問合せ

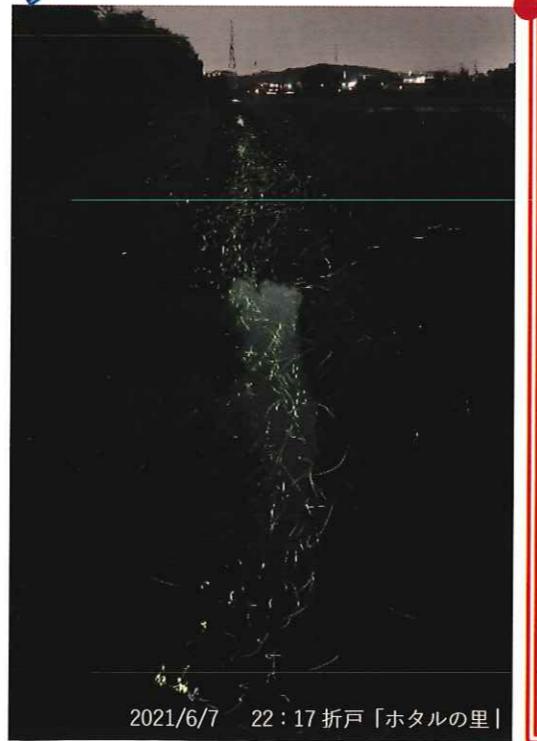
アクセスは予想以上、累計で既に15000回を超え、今シーズン1カ月・2600回(表)。情報を「メール、LINE、SNSに載せる」という声を聞き、拡がる理由が分かりました。問合せ電話が30件超したのは初めて、ブログ更新など手伝ってくれる女性が現れたのも初めて、バックに強力な助っ人・竹ちゃんの存在。あちこちで助けられながらここまできました。

◆ 御礼はお蕎麦と冷酒2本

最後にあっちゃんへの御礼は蕎麦と冷酒2本。「皆さんと熱く語れる時間を頂いたのに感謝したい」。別れ際「会費10年分です」と白い封筒。涙の出るような一言だった。同席した清ちゃん、国さんは「きれいな娘さんだなあー」と、瞬きもせずに見送りました。(ひじかた)



浅井修氏撮影



2021/6/7 22:17 折戸「ホタルの里」

ホタルクイズに挑戦！！



Q1.ゲンジボタルは背中の赤い部分に特徴があります。どれでしょう？

- ① ● ② ▲ ③ +

Q2.関東のゲンジボタルは4秒に1回光ります。日進のゲンジボタルは何秒に1回光るでしょう？

- ① 1秒 ② 2秒 ③ 3秒

Q3.ホタルのメスは交尾の前にオスをなんで見分けるでしょう？

- ①光のつよさ ②体の大きさ
③イケメン

(答えは8ページ)

5月28日(金)夜、ホタルの里近くの折戸西橋でチーズ君が落ちていました。

ホタルの見物でオチビさんを連れた家族連れがすごく多かった日です。

ホタルの会のホームページではチーズ君の写真をアップして落とし主を探しました。

でも連絡がありません。落とし主を探しています。(しょうじ)

ホタルがつなぐ

今から20年ほど前、久しぶりに訪ねた小幡緑地近くの友人宅の庭先に大きな水槽が置かれ、黒いゲジゲジのような虫が動いていました。初めて見たゲンジボタルの幼虫でした。

数年後の2004年、この折戸藤塚の地でホタルを飛ばそうと、博さん、清彦さん、英夫さん、登志子さん、菊栄さんたち数名が活動を始めました。そんな折、あの庭先のゲジゲジの姿、ホタル飼育の苦労や感動を愉しく話す友人を思い出し、揃って訪ねました。そこで高田さんを紹介され、実験室のようなホタルの飼育室にはとても驚きました。その後はお二人を幾度となく訪ね飼育のノウハウを教わりました。そして翌年、藤塚用水でホタルが数匹飛びました。震えるほど感動しました。

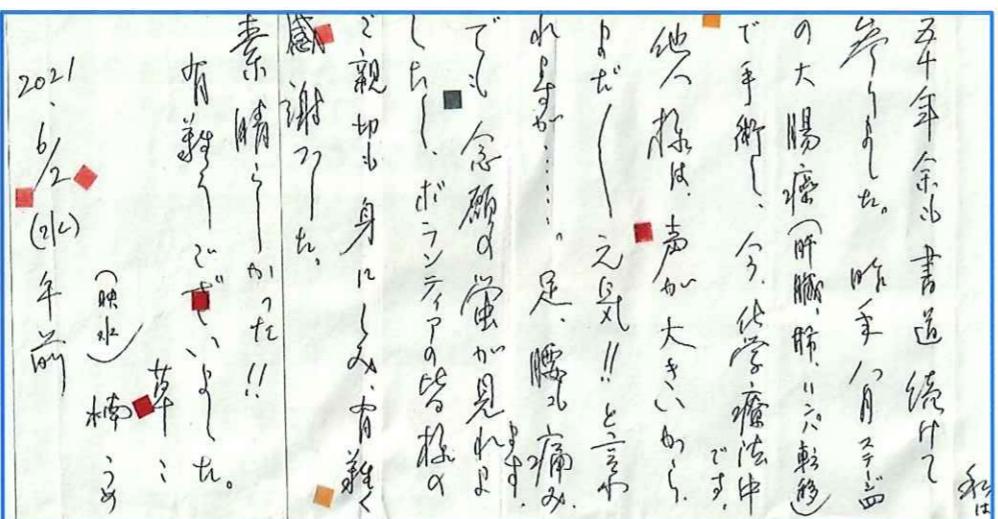
当時の小幡緑地公園のホタルの乱舞は素晴らしく、いつか折戸川でもと夢を見ていました。

あれから17年、折戸川本流でもホタルが飛ぶようになりました。この6月13日には高田さんが、久しぶりにお仲間と折戸川を訪ねてくださいました。ホタルのあの光が人と人をつないでいくのを改めて感じています。

(あつこ)

市役所に届いたうめさんの札状

6月初旬、楠うめ様から丁寧な封書が届き、最初は何事かと思いました。調べてみると感謝と尊敬がにじみ出た素晴らしいお手紙と分かり、転送させて頂きました。ホタルの里と人の心に灯りをともす活動が未永く続くことをお祈り致します。(産業振興課 主幹三角良栄)



「ネットで探しましたが、ホタルの方ですか」「いま飛んでいますか」と、心配そうな男性の声。よく飛んでいますよ、と応えると「母が術後で療養中、ほたるが観たい!と騒いでいるので見せてやりたい」の声にスタッフが感激して案内。大喜びして帰られたのが、うめさんでした。

(ひじかた)

げんじ橋 へいけ橋 完成

清ちゃん・和くんコンビが大活躍。ホタル観賞通路に新しくげんじ橋とへいけ橋が完成(写真)、素晴らしい環境になりました。資材は隣家新築中建材を分けて貰ったり、幸ちゃんの勤務先ご厚意に甘えたり、通路の砂利は伊豆原建設さんが無償提供。「げんじばし」「へいけばし」は書家・有元氏の墨書き。数々の鉢花や植栽は鈴木夫妻。多くのホタルファンの協力があって出来上がりました。「新型コロナウイルスで予定が流れ、時間はたっぷり、念願の橋完成に漕ぎつけた!」と清ちゃん。コロナ禍を逆手に取りニンマリ、あっぱれ!(事務局)



英治・より子の野草日記

折戸川沿いをホタルの里まで、毎朝の7,000歩の散歩が続いて十余年。ホタルの里を折々の花で飾り、ホタルを愛し、野鳥を愛し、雑草こそ?愛し、撮りためた野草は500種以上。野草の解説はもっぱら英治さん、撮影・整理はより子さん。今回は万葉集から、カナムグラのお話です。



カナムグラの雄花と雌花
(greensnap.jpより)
開花は9~10月

思ふ人来むと知りせば八重むぐら
覆へる庭に玉敷かましむ

(万葉集 作者不詳)

(意味)恋しいあなたが来られることがわかつていたら雑草のむぐらを除いてきれいな玉でも敷いておきましたのに

この時代はカナムグラをヤエムグラと言っていたそうです。雌雄異株、雄花は早々に咲き花粉をまき散らし、その後雌花は下向きに咲き、受粉すると赤いドレスに変わります。雄のゲンジボタルが雌に先駆けて羽化しゅくりと舞い始め、雌ボタルが草むらで光り、応える恋の語らいに似ていますね。万葉の時代もカナムグラの茂る中をホタルが舞っていたのでしょうか?

(英治・より子談)

産卵用の種ボタルを回覧

【寝たきり主人の枕元で】

サプライズ・プレゼントに嬉しい驚きです。
寝たきりの主人の枕元でホタルの光の
またたきを見てみるのは何とぞなんて!
この近くの 高木さん達も興味津々で、三三五五
我が家の一オートに見にいらしゃり、喜んで
アリガト。

ホタルの里の宿の字通り、今日の宿泊のホタルも
動きないまま達に見て、温かみを感じて
心から感謝です!

6/1

【花火のようにいさぎよい】

ゲンジ螢の成虫の寿命は約2週間…
その間にメスと出会い恋をして子孫を残す、
螢の命は儂いのですが、花火のようにいさぎ
よい生き方に感動です。
この…すばらしい企画も感動です。
『折戸川ほたる会』の出会いに感謝です。
皆様 ありがとうございました 2021.6.3

【はじめてたまごを見た】

夕方からとてもきれいに光っていました。
その近くをよく見ると、1mほどどのたまごがありました。
オスがいいしうけいに、光っていて
がんばっているなと思いました。
はじめてたまごを見たので、気を強になりました。
ありがとうございます。ありがとうございます。
南井麻奈美



「ホタル観賞会」がコロナで中止になった子供会、ご近所で折戸川まで観賞に行けないファンに種ボタルの入った「産卵カゴ」を回覧しました。添付した「落書き帳」にこんな感想が寄せられたので紹介します。



にっしん ESD 事業

小学校出前授業

ホタルの一生と川の環境



幼虫ってこんななの？



ホタル生きてる？



手指の消毒も大切

南小 3年5クラス 162名
の質問は止まらない！

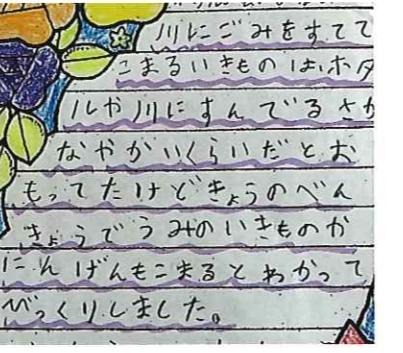


バーチャル
ゴミ拾い
フラゴミ多いね！



梨の木小 3年4クラス 108名 元気に手が上がりました！

みんなで SDGs しましたね！



西小 4年4クラス 153名
ホタルにも環境にも探求心旺盛です！
17年前、私たちは西小の先生にホタルの飼育を習いました(清彦)



うれしい！ いっぱい感想文をいただきました

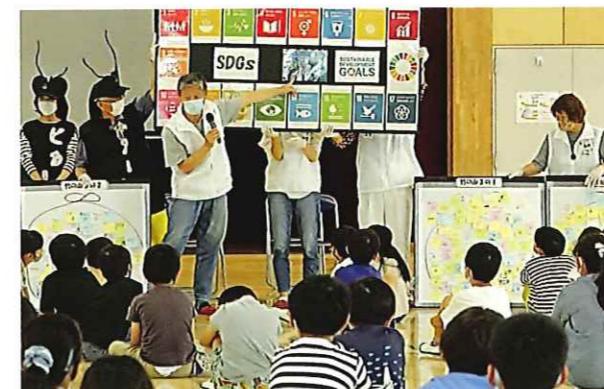
ホタルことはごく普通の様子へ
ケンシボタルを見せて貰ってありがとうございました。とてもキレイで、うとりました。人生2回目のホタルを学び方で、見れて、とてもうれしかったです。折戸川にホタルが多いいると聞いたら、家でよく行きまくる。きっとまたうとりすると思ひました。ホタルに、何回も、心をうだかされます。オヌ、メスキナがして樂しい夜にします。



北小 3年5クラス 148名
家に帰れば子供たちが先生役
ホタルのことも SDGs も
みんなに教えてあげて！



竹の山小 3年3クラス 80名
「生きたホタル」と聞いて
「ワー」と歓声！
みんなのキラキラした声に
感動しました！(三郎)



撮影 浅岡 光子

みんなに来年も見てほしいからホタルを大切に育て、折戸川からフラゴミが流れないようにきれいにしようと思いました。これからも頑張ります！